

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム
2. 事業名	枯葉剤/ダイオキシン濃厚汚染地区における低体重児の発育改善プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	応募団体である金沢大学は、ベトナム戦争中に撒布された枯葉剤の影響が40年以上経過し今日でも認められることを、これまでのベトナムの関係機関との共同研究において明らかにしてきた。具体的には、濃厚汚染地区の母親58名の母乳には対照地区に比べて平均3-5倍のダイオキシン濃度があること、また、母親や幼児のステロイドホルモンにも影響を与え、低体重出生児が12%（対照地区4%）と高率であり、この事実を県地域医療スタッフと共有するとともに地域の低体重児の発育を改善することが必要である。
4. プロジェクト目標	フーカット県において、ダイオキシンの影響を踏まえた母子保健活動が自立的かつ継続的に実施される。
5. 対象地域及び管轄する領事館	ビンディン省フーカット県、在ベトナム日本国大使館（ハノイ）
6. 受益者層（ターゲットグループ）	対象地域の乳児（3,000人程度）およびその母親
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> フーカット県人民委員会保健局、フーカット県立医療センター、ハノイ医科大学10-80委員会、ベトナム国家大学（ハノイ）、ベトナム北部環境モニタリングセンター（NCEM）、ベトナムアカデミーの間で、プロジェクトの実施・調整のための連携体制が整う。 フーカット県立医療センターとベトナム国家大学（ハノイ）、NCEM、ベトナムアカデミー、ハノイ医科大学10-80委員会等が連携して実施する健診及び検査を通して、ダイオキシン濃度の高い母乳を飲んでいる低体重児を特定される。 枯葉剤の健康被害の実情を理解し、対策方法を指導できる地域医療スタッフ（医師、看護師、保健スタッフ等）が育成される。 健診の結果を踏まえ、介入が必要な母子に早期に個々の低体重児向けの発育改善支援計画が立てられ、継続的な早期離乳指導や栄養指導が行われる。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1 フーカット県人民委員会保健局、フーカット県立医療センター、ハノイ医科大学10-80委員会、ベトナム国家大学（ハノイ）、NCEM、ベトナムアカデミーとの間で合同調整委員会及び担当者会議を定期的に行う。 1-2 合同調整委員会を日本でも開催し、関連機関を視察する。 2-1 ベトナム国家大学（ハノイ）、ベトナムアカデミー等のスタッフを対象に、ホルモンやダイオキシンの精密分析の技術研修を本邦及び現地で実施する。 2-2 血液・臍帯血・母乳中のホルモンやダイオキシンの精密分析を行うための教材を作成する。 2-3 フーカット県において、県立医療センターが低体重児の状況把握を目的として乳児とその母親を対象とした健診を行う。（乳児の身長、体重、頭囲、胸囲及び母親への問診） 2-4 県立医療センターとベトナム国家大学（ハノイ）、NCEM、ベトナムアカデミーが連携し、ホルモンやダイオキシンの測定法を確立する。 2-5 県立医療センターとベトナム国家大学（ハノイ）、NCEM、ベトナムアカデミーが連携し、母子の臍帯血中ホルモンや母乳中のダイオキシンを検査する。 3-1 （研修の上級編）県立医療センタースタッフを対象に、現在のダイオキシンに関する知識や講義ニーズに関する調査を行い、その結果もふまえたダイオキシンの健康被害やその対策を習得するための教材を作成する。 3-2 （研修の上級編）3-1の教材を用いて研修を実施し、知識を得た上級編受講者がそれらをコミュニケーション・ヘルスセンタースタッフ等の、中級編受講者に実施できるよう、中級編資料の作成、演習をサポートする。 3-3 （研修の中級編）コミュニケーション・ヘルスセンタースタッフ等に合わせた研修プログラムを策定する。 3-4 （研修の中級編）3-2の教材を用いて上級編受講者が中心となって研修を実

	<p>施し、知識を得た中級編受講者が村の健康推進員等の、初級編受講者に実施できるよう、資料の作成、演習をサポートする。</p> <p>3-5 (研修の初級編) 村の健康推進員等に合わせた研修プログラムを策定する。</p> <p>3-6 (研修の初級編) 3-4 の教材を用いて上級・中級編受講者が中心となって研修を実施し、知識を得た初級編受講者が低体重児家庭や一般家庭を支援できるようサポートする。</p> <p>4-1 県立医療センターが出生児の情報を母親の居住するコミュニン・ヘルスセンターに伝える。</p> <p>4-2 コミュニン・ヘルスセンターが得られたデータを利用して適切な支援計画を立てる。</p> <p>4-3 ホルモン及びダイオキシン検査の結果(2-5)を踏まえ、上級または中級編の研修を受けたスタッフが、対象母子及びその家族に対し、早期離乳指導や栄養指導の講習会を実施する。</p> <p>4-4 上級、中級、初級の研修を受けたスタッフたちが、対象母子に対し個別に早期離乳指導や栄養指導を実施する。</p> <p>4-5 初級、または中級の研修を受けたスタッフが対象母子への継続的なモニタリングを実施する。</p>
8. 実施期間	(西暦) 2019年8月2日~2024年9月30日(5年2ヵ月)
9. 事業費概算額	82,068千円
10. 事業の実施体制	<p>プロジェクトマネージャー: 金沢大学教授(城戸・公衆衛生専門医)</p> <p>CP機関: Phu Cat 県人民委員会保健局</p> <p>母子保健活動実施機関: Phu Cat 県立病院</p> <p>ホルモン、ダイオキシン類等測定機関: 天然資源・環境省ダイオキシン研究所、</p> <p>協力機関: ハノイ医科大学 10-80 委員会</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人 金沢大学
2. 活動内容	高等教育、研究、社会貢献